



札私幼

第155号 平成28年12月15日発行

《編集》
札私幼広報委員会

《発行責任者》
一般社団法人
札幌市私立幼稚園連合会
前田元照

札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10
札幌市生涯学習総合センター内
☎ 671-3590 FAX 671-3591

第59回 北海道私立幼稚園教育研究大会 札幌ブロック大会 第48回 札幌市私立幼稚園教育研究大会

平成28年10月28日(金)29日(土)の二日間にわたり、第59回北海道私立幼稚園教育研究大会札幌ブロック大会第48回札幌市私立幼稚園教育研究大会が開催されました。今年度からテーマが新しくなり「人生のスタートにこそ良質な教育を」～保育臨床の視点を大切に、保育の質を問いつづけよう～と掲げ、沢山の参加者と共に盛大に行われました。

一日目は、各区の会員園から私立幼稚園・認定こども園20園、市立幼稚園2園計22園が会場となり公開保育、保育研究が行われました。午後からは各公開園の研究テーマに基づき、実践的な講習やディスカッション・ワークショップ、講師の方を招いての講演などが行われ各担当園は工夫を凝らしながら分科会にもご努力されたことと思います。参加者の先生達も、公開保育では他園との違いに興味を持ちながら参考にしたいことなど真剣な思いで参観していたと思います。また、分科会も明日からの保育に繋がる物を得ることができ、学びある一日目を終えることが出来たと思います。

二日目は、札幌市民ホールに会場を移し全体会が行われました。セレモニーでは、大会長 前田元照札幌私幼会長、川島教孝北私幼会長の挨拶に続き、衆議院議員 高木宏壽様、札幌市副市長 町田隆敏様、札幌市私立幼稚園PTA連合会会長 小林邦章様よりご祝辞をいただきました。他にも日々幼児教育にご尽力下さっている札幌市私立幼稚園振興議員連盟の市議会議員の方々もご列席いただきました。衆議院議員の高木宏壽様におかれましては札私幼讃歌のピアノ伴奏もされ和やかな雰囲気の開会式になりました。

基調講演では「保育環境から据えなおす乳幼児期に

ふさわしい保育実践について」と題し西南学院大学児童教育学科教授 門田理世先生よりご講演いただきました。写真をもとに保育環境の質を読み取ることの大切さや環境に込められた保育者の意図に焦点を当てる方法について、お話しになりました。門田先生が用意された写真を見ながら講演が始まりました。砂場の写真が始めに映し出されると参加者の先生達からは驚きや笑い声が上がりました。この写真から、何をどのように読み取るのか考える時のポイントとして「子どもの心もち」の大切さを教えて頂きました。その中で、自由に遊ぶ事の意味を考え、子ども同士の教育力を育てる為には保育者の言葉掛けが重要になり、安心感や子どもの力を引き出す事が保育の質に繋がる事をお話し頂きました。また、保育の質を測る時には自己評価も必要であるとお話がありました。「評価」という言葉は、先生達からみると、気にしてしまうような言葉だと思います。しかし、このような写真などを活用しながら子どもの姿や自分の保育を振り返ることを「評価」の一つと考え、明日からの保育を良くする事に繋がるというお話を聞き、「評価」に対する捉え方も変わったと思います。

子ども達の育ちや保育を確認しながら、しっかりと自己評価をすることは保育の質をより良い物にする為に必要なことであると考えさせられました。

その他にも、学ぶ事がたくさんあり、門田先生の話に魅了され、もっと話が聞きたくなるような講演会でした。門田先生が会場にいる参加者の写真を記念に写して頂き参加者の方達にも思い出に残るような場面もあり、明日からの保育に繋げて行ける教研大会となりました。



私立幼稚園就職フェア

昨年に引き続き札幌市私立幼稚園連合会主催の「私立幼稚園就職フェア」が、9月24日(土)にホテル札幌芸文館にて開催されました。当日は晴天に恵まれ、交通の便の良さもあってか12時10分の受付開始とともに多数来場され、今年度の入場者数は約230名となりました。

昨年度までの反省や来場者の様子等を踏まえ、就職を希望する最終学年の学生のみならず幅広い世代に幼稚園・保育教諭のやりがいや楽しさをアピールできる場にしたいと考え、今年度はサブタイトルとして「ミライノトビラ～子どもとあそぼう！子どもとつくろう！」を設定しました。就職フェアについても回を重ねるごとに周知され、今年度のブース参加園は昨年よりも増え33法人56園となりました。これも、会員園の皆様のご理解とご協力があったことです。改めて感謝申し上げます。

参加ブースが増えたことで、多くの質問や疑問にす

ぐに応えたり、幼稚園・保育教諭の魅力や自園のアピールをすることができたりと、来場者にとって大変実りのある2時間だったのではないかと思います。アンケートの中



にも「沢山の園のことを知り、自分の将来を見据えることができた」「就職までにはまだ時間があるが、会場の雰囲気が保育者を目指す自分にとってやる気をもらえる場所になった」等、参加して良かったという声を多数いただきましたが、更に意義のある就職フェアになるよう、我々広報委員会でも検討を重ね、次年度に向けて準備をしっかりと行ってまいりたいと思います。

当日お手伝いいただきました振興委員の皆さん、参加していただいた園の皆さんお疲れさまでした。次年度は平成29年9月23日(土)場所は同じくホテル札幌芸文館で開催予定です。改めて会員の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

政令指定都市私立幼稚園団体協議会 第15回次世代研修会「北九州大会」参加報告

この度は、平成28年8月18日(木)・19日(金)の2日間、北九州市に於いて開催された次世代研修会に参加する機会を与えられ、感謝と共に責務を痛感しております。

北九州には「麒麟の会」という次世代を担う北九州の若手園長・後継者の会があり、今回は、「麒麟の会」の方々が中心になって会の運営が行われました。

開会式では、政令指定都市私立幼稚園団体協議会の柿迫重正会長から、「自園で問題や課題が生じた場合に一人で悩むのではなく、相談出来る仲間を作って、おおいに学び、語り合ってほしい。」とお話がありました。次に北九州市私立幼稚園連盟の村上順滋会長からアイザック・ニュートンの「我々はあまりにも多くの壁を造るが、架け橋の数は十分ではない。」という言葉が引用され、「勉強して知識を増やすことによって壁を造るのではなく、人との間に架け橋をかけて良い仲間を沢山作ってほしい。」とお話がありました。北橋健治北九州市長の挨拶では、平成28年5月に全国20政令指定都市の全市長が、「イクボス共同宣言」をしたこと、これからも幼児教育の発展のためにお互いに各都市が情報交換を行い、連携し合っていきたいとお話があり、研修会が始まりました。

大会主題「いまこそリーダーのスキルアップを」をテーマに、セミナー1では、「聴く力・伝える力を拓こう」という表題で、インプロ集団モザイクスの3名の講師を迎えて始まりました。講師からは、「乳幼児期の子どもたちは遊びを通して挑戦する楽しさを知り、関係性の作り方を学び、他人との違いや自分の尊さを感じながら人として生きて行く基礎を形成していく。そこにいる大人もその世界を共に楽しむことが重要である。」等ということが述べられ、実際にハンドスラップ・ゾンビゲーム等の遊びを体験することが出来ました。

セミナー2では、子どもと保育研究所ぶろほ 山田真理子所長から、(1)正しい言葉を学ぶより、表現で

きるたくさんの言葉を使える方が、言葉の目詰まりを解くためには大切である。(2)正しい言葉は一つのことしか表さないが、間違った時には、沢山の連想を生むので、間違いを遊ぶことも大切である。(3)分からないことは、もっと深く知ることへの扉であるので「分かりません。」ではなく「ヒントを下さい!」と言える子どもになってほしい。ということが述べられ、実際に演習を行いました。

情報交換会は、川のほとりで食事をしながらアットホームな雰囲気の中で、新しく出来た仲間と本音で語り合え、学びの多い時間を過ごすことが出来ました。

二日目は、世の中の機械を飛躍的に進化させてきた「メカトロニクスのYASKAWA」(株)安川電機みらい館で施設見学をしました。10年後には多くの仕事、職種がAIとロボットに取って代わられるのではないかと云われる程、テクノロジーの進歩には凄まじいものがありますが、その現状を目の当たりにし、人とロボットが共存する新しい世界を体験する事が出来ました。

最後に沢山の親子がのびのびと楽しそうに遊ぶ、北九州市立子育てふれあい交流プラザ「元気のもり」を見学して、子育て中の親子が「心地よく過ごせる環境」について学ぶことが出来ました。

今回学んだことを今後の幼児教育の発展のために活かしていける様、努力して参りたいと思います。

この度、お世話になった方々に心からお礼申し上げます。(札幌あかし幼稚園 副園長 清水貴子)



第1回乳幼児保育研修会

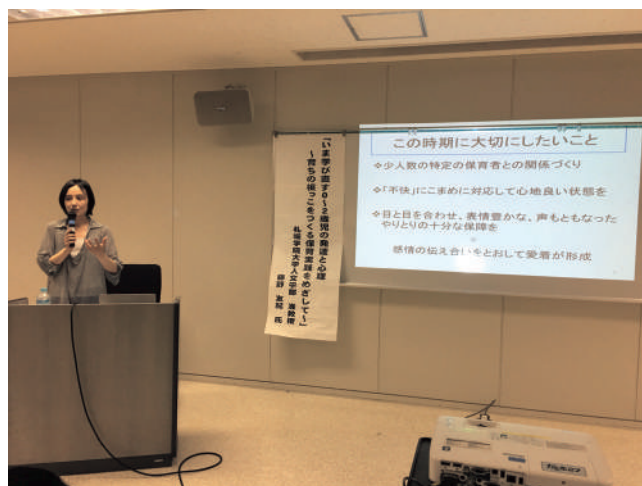
今年度から、新たな委員会として発足した「認定こども園委員会」が7月12日に、かでの2・7で「乳幼児保育研修会」を開催しました。

第一回目は札幌学院大学人文学科 准教授 藤野友紀先生をお迎えし「いま学び直す0～2歳児の発達と心理：育ちの根っこをつくる保育実践をめざして」というテーマで4つの時期に分けお話し頂きました。

- ①乳幼児前半～「微笑の発達過程」では、目と目を合わせ表情豊かなやりとりにより愛着が形成される時期。
- ②乳幼児後半～「愛着・三項関係の成立」では、子どもの揺れを受け止めて安心させる。様々な体を使った遊びから、沢山の期待と共感をさせる中で言葉の土台となる、伝えようとしている情報や感情を受け止めていく時期。
- ③1歳児～「表象の成立と自我の発達」では、要求や拒否をまずは受け止める。心の余裕を得られる間を与え、周囲に目を向けさせ、共感・納得して活動する時期。

④2歳児～「自我の拡大から充実」では、自分が1番の気持ちを根っこに、成長欲求を褒めて励ましたり、ごっこ遊びを楽しんだりする時期。

それぞれの時期の成長からどうかかわっていく事が重要か様々な実験やデータも取り入れ分かりやすくお話し頂き、改めて乳幼児期を学ぶことの大切さを再確認しました。



第2回乳幼児保育研修会

11月22日、かでの2・7で2回目の「乳幼児保育研修会」が行われました。札幌大谷大学短期大学部・藤女子大学 非常勤講師 高橋 由紀子先生をお迎えし、「目に見えにくい育ちを大切にしたい乳幼児期～成長の素晴らしさと気付きさを実践事例から～」というテーマでお話し頂きました。

子どもの中に潜むたくましさやもろさに影響を与えるいくつかの実践事例から、子どもに手をかける時には、心もかけることの大切さ。親との信頼関係を築き、家庭での状況を知り、その時々の子どもの心に寄り添ったかわりをしていく事の大切さを分かりやすくお話し頂きました。

目に見えない成長を育むためのお話からは、抱きとめ合いの発達段階にふれ、子どもの育ちと気持ちを理解した上で抱く事の重要性。また、江戸時代から言われていることわざ、江戸の知恵「三つ心 六つ躰 九つ言葉 十二分 十五理で決まる」から、幼児期の土台の大切さをお話しされました。

その後、5人位のグループに分かれ、「抱っこ」に対しての各園の考えや、親への対応等、それぞれのグループで活発な意見交換が行われました。

まとめとして、現在の子どもの実態から、現場での遊びが心・体を育てる事、子どもはその場の環境で変わる事をお話し頂き、「保育の醍醐味」と言う先生の言葉に深く頷いていました。



にこにこフェスティバル（幼稚園体験）

平成28年8月27日(土)市立大通高等学校DORIスペースにて、「さっぽろ ようちえん・こどもえん にこにこフェスティバル」が開催されました。ままごとや工作コーナー、魚釣りにボウリングなど、ホールやエントランスに楽しそうな遊びがいっぱい広がりました。そこに遊びに来てくれたたくさん子ども達。みんな目をキラキラさせながら、にこにこ笑顔で楽しんでいる様子を目にすることができました。友達や先生と遊ぶ雰囲気や楽しさを少しでも感じていてくれたら嬉しく思います。

お子様と一緒にたくさんの保護者の方も来ていただきました。「幼稚園・こども園はどのようなところ?」「どのようなことをするの?」「入園までに必要なことは?」など、就園前の気になることは山ほど。聞きたくても聞けなかったり、どこに聞けば良いのか分からなかったりと、たくさんの想いを抱えている保護者の方が多くいらっしゃったようです。私立・市立幼稚園



の先生からの話や相談コーナーもあり、参加された方はどの方も真剣な表情。お子様を大切に想う気持ちが伝わってきました。大切なお子様をお預かりするという気持ち、そして保護者の方も子ども達も安心して過ごせる環境の大切さを改めて感じる時間となりました。

リーダー“力”スキルアップ講座

今年度第1回目のリーダー“力”スキルアップ講座が、10月11日(火)にかでる2・7にて行われました。講師として、全日本私立幼稚園連合会 研修研究委員会 副委員長の加藤 篤彦先生をお招きし、「保育の質とは何かを改めて学び、自園の保育の良さを知る」というテーマで講演していただきました。

加藤先生が園長を務めておられる武蔵野学園 武蔵野東第一・第二幼稚園の保育実践を元に、改めて幼稚園教育要領を読み取り、新たに作成される指導要領について学びを深め、自園の保育と照らし合わせるきっかけとなる研修会となりました。これまでの教育要領には「言われたことを最後までしっかりできる」という視点が含まれており、教えこんだり覚えさせたりな

どの「させる教育」では、指示されないとできない、失敗を恐れてチャレンジできないなどの弊害が出てきたことから、今後子ども達の生きる力を育てるためには「学び志向への転換」が必要であるというお話がありました。何事も自分で決めて取り組んだり、自らチャレンジしようとする主体性が育つには、遊びや活動の過程で時には我慢したり、やりたくないと後ろ向きな気持ちになることも、実際やってみれば結果として楽しかった!という気持ちが生まれることであり、そこに、結果ではなく過程が大切である理由があること、今後の幼稚園教育要領の改訂もそこを踏まえているということを丁寧に教えていただく学び多い研修会となりました。



特別支援教育研修会

第1回特別支援教育研修会が11月22日(火)にちえりあにて行われました。この研修は、札幌市特別支援補助金に関わる支援担当者研修にもなっており、約100名の先生方が集まりました。

今回は、児童発達支援（児童デイサービス）の実際について、児童発達支援・放課後等デイサービス さっぼろぐるんば第二 施設長 松浦 秀昭先生にお話しして頂きました。

前半は、児童発達支援の概要や支援・サービスの内容、利用開始までの流れについて、後半はご自身が勤められている、「さっぼろぐるんば第二」のプログラムや支援の内容を写真を使ってわかりやすく教えて頂き、児童デイサービスについて様々な視点から学びを深める事が出来る研修会となりました。

現在、規制緩和により児童発達支援所（児童デイサービス）の数は急激に増えていますが、そこで行われているプログラムは様々です。利用者数も増加していますが、自園に通う子どもが、どのような児童発達支援所に通っているのか、連携を取りながらきちんと把握する必要があると感じました。

また、第1回特別支援研修と並行して、小学校の特別支援学級の授業公開である、第2回特別支援研修が



行われ、11月15日(火)の西区西野小学校を皮切りに、各区1校ずつ特別支援学級の授業公開をして頂き、12月13日(火)に終了しています。

第2回特別支援研修会公開校一覧

区	授業公開校	実施日
中央	中央小学校	11月28日(月)
東	北光小学校	11月21日(月)
南	藤の沢小学校	12月13日(火)
西	西野小学校	11月15日(火)
北	篠路西小学校	11月21日(月)
白石	米里小学校	12月9日(金)
豊平	豊園小学校	12月1日(木)
清田	清田南小学校	12月13日(火)
厚別	厚別通小学校	12月13日(火)
手稲	前田中央小学校	11月29日(火)

平成29年度予算要望活動

札幌私幼執行部は、各区の理事の皆様を通じて会員園からご意見を伺い、来年度予算への要望内容を整理して「平成29年度の予算に対する要望書」をまとめました。そして11月15日(火)、札幌市私立幼稚園振興議員連盟の市議会議員の方々の同席のもと、札幌私幼総務委員、札幌私幼P連の会長・副会長が出席して、札幌市役所で予算要望を行いました。板垣副市長あてに前田会長から要望書を提出し、小林P連会長からSS（スタートス



トロング）運動の39,683名分の署名簿を手渡した後、戴副会長から要望趣旨を説明しました。札幌市が幼児教育関係予算を増額し、他の政令指定都市の先頭に立つような「札幌スタイル」を確立することを強く求める内容です。

なお、詳細については、現在も折衝中です。結果がわかり次第、理事会・広報誌などを通じてお知らせいたします。

予算要望内容

札幌私幼

- (1) 特別支援教育事業
- (2) 教材教具補助事業
- (3) 新制度に係る事項
- (4) 研修費等助成事業（団体補助）
- (5) 人材確保事業（幼稚園教諭・保育教諭）

札幌私幼PTA連合会

- (1) 保護者負担の軽減
 - ① 就園奨励費補助金
 - ② 新制度移行園の利用者負担額（1号認定）
- (2) PTA団体助成金

園紹介

アラカルト



【札幌みすまい幼稚園】

主任 諏訪 まさ代

当園は平成13年に開園しました。簾舞は豊かな自然に囲まれ、春夏秋冬を視覚・味覚・触覚等で感じることができます。「春」雪解け後、しばらくして子ども達が好きな園庭遊び再開。雪に隠れていた砂場・遊具を使用し、新入園で不安げだった子供にも笑顔が少しずつ出てきます。進級児さんとの関わりも増え、笑い声で園も温かい空気に包まれていきます。「夏」当園自慢のさくらんぼの木に実がなり収穫を迎えます。花から実になる様子を散歩で見守っているため収穫日を心待ちにしています。収穫時には、枝を傷めないように優しく上に向けて採る。きれいなさくらんぼだけではなく、少し傷んでるものも次の収穫の為に採ること等、植物に対しての思いやりの心を持てるように約束をし体験します。「秋」春に行った菜園作りの収穫。今年はじゃがいもを畑で育て成長を見守りました。じゃがいも掘りをはじめて体験する子供も、大小様々な大きさ・形のじゃがいもを掘り、歓声を上げ、土の感触を楽しみました。時々顔を見せるみみずのお客さんに驚きの声を上げ、満面の笑顔で収穫を終えることが出来ました。10月に行った落ち葉焚きでは、秋を満喫しました。子ども達が集めてくれた枯葉を使い、園を取り囲む簾舞の山々の色鮮やかな紅葉を観ながら焚き火。秋空の下、最後はお楽しみのほかほかのさつまいもを皆で食べました。「冬」子ども達は寒さに負けず雪の中に飛び出していきます。バスの先生力作の滑り台は大人気。保護者の方に作ってもらったそりで、坂を滑り降りていきます。回数を重ねるごとに体勢を変えスピードを上げたり、緩めたりと工夫をして滑っています。雪の



中、狐の足跡を発見したり、子狸に遭遇した事も。子供たちも自然と共に生きている楽しさを感じてくれています。

そんな自然に恵まれている当園では緑豊かな自然の中で夢を育み・心も体も大きく育つ子を軸とし、「ありがとう」の感謝の心・「ごめんなさい」の素直な心・「だいじょうぶ？」の思いやりの心・「よかったね」の共に喜びの心を育む子を大切に日々保育にあたっています。創立して間もない頃、初代園長は「元氣一杯・自然が一杯」をキャッチフレーズにどの子も生き生きと過ごせることを願っていました。その願いを引き継ぎ、子ども達の原風景となる自然を生かし、創造性を伸ばし人格形成にあたっていきたいと考えています。

子供たちを温かく見守っていただいている地域の皆さんとの交流にも目を向け、秋に実施される簾舞通行屋祭りに参加し年長児がよさこいを披露したり、近隣中学校生も職場体験しにきたりしています。未就園児教室も今年度から子どもはもちろん保護者の方にも興味を持っていただき参加しやすい空間作りをモットーに創意工夫をし取り組んでいます。在園児が体験している外部講師による英会話教室への参加や親子遠足、子育ての不安や戸惑いに少しでも力になれるよう、お話をさせていただいています。今ある環境、培ってきた心の教育を基に、新しいものにも挑戦して、日々、子ども達と向き合っていきたいと思っております。



園紹介

アラカルト



【黎明幼稚園】

園長 村田 悠紀子

黎明幼稚園は、月寒教会の付属幼稚園として1953年に豊平川から東で最初にできた幼稚園です。保育理念を「人間の尊さを共に生きる」として、ハンディーを抱える子や、弱さを持つ子を比較的多く受け入れ保育を続けているうちに、子どもの自由な遊びを保育の中核に据えた縦割り保育へと移行してから30年以上が過ぎ、現在に至っています。

園児は50数名と少人数ですが、時間と空間を保証され遊び込む子どもたちが、自分と違うさまざまな仲間と関わり、一個の主体として尊ばれ、お互いを認め合って共に生きています。

その活動の一つをご紹介します。

異年齢の中で、たくさんの愛と承認を与えられて育ってきた年長の女の子たち6、7人。休み中に行った祭りの話で盛り上がり「しののめまつり」をすることを決め、くじ引き、ジュース、かき氷、ヨーヨー、ゲーム等々を他の子にも楽しんでもらおうと、廃材や以前使ったものを再利用しての物作りを開始。自分たちで決め、自分のやりたいところを担当し、仲間を誘いながら製作すること数日。祭りのラストを飾るのは、気持ち盛り上げのためには必須の踊りタイム。そのアピールも年少が分かりやすいようにと踊り方の絵を描くことを決めました。年少が景品の折り紙を作ったようにしていると中心メンバーがペンを貸し、折り方を教えます。各コーナーを具体的に地図化して貼り出したり、ポスターも作りました。

その数日間も、自由遊び時間は、天気がよければ外



あそびに出たり、運動会のためにチャレンジしたいものを自主練習したりして、開催予定の日がどんどんずれていきましたが、「しののめまつり」でみんなを喜ばせ、自分たちも楽しもうと心待ちにしていたメンバーたち。

いよいよ開催日。この日は、飛び入りで幼稚園の大根でお料理を作って出す係りや、本物の麦茶氷を売るコーナーができたこともあり大盛況。それまで作り手としては参加できなかった子もまつり会場に出かけることを通して楽しく参加ができました。

しののめの子どもたちは、夢中になって集中して遊び込みます。そして、その遊びには、自分の中の発見をとことん探究するものもあれば、友だちと「共にすること」に意義を求め、一人ひとりのイメージの不一致や思いのぶつかり合いを自分たちなりのやり方で何とか乗り越えて「楽しさ」を共有するものもあります。子どもたちは遊びを通して、たくさんのことを感じ、

考え、「自分づくり」を果たしています。毎日の生活の中では、いろいろな理由で参加できない子、同じようには心に向かわせることができない子もいます。そんな仲間立ち止まって目を注ぐことを積み重ねて行くことで、かけがえない一人ひとりと共に生きる生活を実現している黎明幼稚園です。





連 台 会 日 誌

札幌市私立幼稚園連合会の主な動き
(予定を含む)

- | | |
|--|-----------------------------------|
| 9月16日(金) 認定こども園委員会 | 11月22日(火) 乳幼児保育研修会 (かでる) |
| 9月24日(土) 就職フェアミライノビラ (芸文館) | 11月22日(火) 特別支援教育研修会 (ちえりあ) |
| 9月27日(火) 研究委員会 | 11月25日(金) 振興委員会 |
| 10月6日(木) 広報委員会 | 12月1日(木) 広報委員会 |
| 10月11日(火) リーダー“カ”スキルアップ講座 | 12月13日(火) 総務委員会・理事会 (札幌ガーデンパレス) |
| 10月12日(水) 私保連と懇談会 | 12月13日(火) 養成校懇談会 (札幌ガーデンパレス) |
| 10月21日(金) 総務委員会・理事会 | 12月14日(水) リーダー“カ”スキルアップ講座 (ちえりあ) |
| 10月28日(金) 教育研究大会 公開保育研修・分科会 (市内幼稚園22園) | 1月23日(月) 総務委員会・理事会 (札幌ガーデンパレス) |
| 10月29日(土) 教育研究大会 全大会 (札幌市民ホール) | 1月23日(月) 永年勤続表彰・新年交礼会 (札幌ガーデンパレス) |
| 11月7日(月) 全日政令指定都市特別委員会研修会 (東京都) | 1月27日(金) 札幌幼児教育セミナー |
| 11月11日(金) 研究委員会 | 2月3日(金) 振興委員会 |
| 11月11日(金) 政令指定都市私立幼稚園協議会運営委員会 (新潟市) | 2月23日(木) 総務委員会・理事会・平成28年度臨時総会 |
| 11月15日(火) 札幌市への要望書・SS運動署名簿手交式 (市長会議室) | 3月10日(金) 広報委員会 |
| | 5月19日(金) 総務委員会・理事会・平成29年度定時総会 |

平成29年度
第48回札幌市私立幼稚園
教育研究大会のお知らせ

日にち

平成29年9月29日(金)・30日(土)

平成29年度
札私幼就職フェアの
お知らせ

日にち

平成29年9月23日(土)

場所

ホテル札幌芸文館



平成28年も残りわずかとなりました。

会員の皆様はどのような1年でしたでしょうか。広報委員会では4月二度目の任期を務める太田真理委員長を中心に6名の女性メンバーが各々の持ち味を生かしながら毎回意見を出し合い活動を進めてきました。

今期の仕事で印象に強いのは会場を昨年までのコンベンションセンターから「ホテルさっぽろ芸文館」に移動して実施された「就職フェア」でした。大勢の学生さんに足を運んでもらい「幼稚園教師という仕事の魅力に触れ、関心

を高めて、自分の進む道として選択を!!」という願いを込め開催準備に励みました。

参加した学生さん達の声はアンケートにまとめました。一方ブース参加をして下さった各園がその後、提出した求人票での新採用にどの程度「就職フェア」が役立っていたのか、改善点など含め、次回開催に向けてのプラスになるよう備えることで「就職フェア」を終了と認識しています。

今少し奮闘しますのでご協力ください。

今年も園の仕事・広報の仕事を続けられた環境に感謝して…。

ありがとうございました。

(鈴木)

